



# 神奈川の風



平成28年3月24日号

校長 吉江 明洋

## < 平成27年度の修了を迎える今 >

3月14日(月)神奈川中学校第66回卒業証書授与式が、盛大に挙行され、171名の卒業生はそれぞれの思いを胸に、新たな伝統を在校生に残しながら爽やかに母校を巣立っていきました。

1・2年生は、卒業式の余韻に浸るまもなく明日3月25日(金)が本年度の修了式。そして4月からは君達が主役となる新年度を迎える今、自分の目標を定めるときがきました。

学習・部活動・学校生活・家庭生活はどうしようと考えていますか。ただ「頑張る」と思うだけでは頑張れません。具体的な行動を思い浮かべて計画することが大切となります。

一年後に「こうなっていたい」と思い描く自分の姿を実現するために今日があり、その積み重ねが自分の財産となります。人の生き方は十人十色ですが、来年の今頃に自分が満足できる心豊かな一年になってほしいと願っています。

先生方は、一生懸命に取り組み着実に伸びようとする皆さんへの援助は惜しみません。そんな一人ひとりの思いが集まってこそ、3年生から君達に託された神奈川中学校がさらに良くなっていくことと思います。共に頑張りましょう。



## < 愛情そして家族の絆 >

三寒四温。一日ごとに春の気配が強まり、おっとりとした陽射しにうながされた桜も22日に開花宣言となりました。

そんなのどかな日常の一方、世の中では相変わらず、親子の絆や友人同士の愛情が微塵も感じられない悲しいできごとが後を絶たずに報道されています。

大切な何かを忘れ去った、その無機質な感情はどこで育ってしまったのでしょうか。日本人の心がすさんでいくようで、とても悲しくなります。たとえ、どのような感情の行き違いがあったにせよ、互いに思いやり、一生懸命に生きてこそその人生だと思えます。

本校の生徒が、この春休みが有意義なものとなり、家族の愛情を一杯に受け、誰もが顔を輝かせて新学期がスタートできるよう、先生方全員が心から願っています。

今年もなんだかんだと綴ってきた「神奈川の風」ですが、この123号が本年度の最終号となります。この一年間、保護者や地域の皆様のご協力ご援助に心から感謝しております。28年度も本校教職員に力と勇気を与えていただきますよう宜しくお願いいたします。

では、生徒の皆さん、健康に気をつけて4月5日(火)全員元気にお会いしましょう。

<本年度もご愛読ありがとうございました>